

浜街道



田んぼアート「アマビエ」

Contents

会長就任の挨拶	02
令和2年度 役員紹介	03
令和2年度 パークゴルフ	04
東日本大震災・原子力災害伝承館	05
楡葉町の紹介／よろず相談窓口／編集後記	06

No. 80

OCT 2020

はまかいどう
令和2年10月23日発行
福島原子力企業協議会

会長就任の挨拶

福島原子力企業協議会

会長 原 徹 徳



この度、令和2年度福島原子力企業協議会の会長を務めさせていただきます、アトックスの原と申します。就任にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

ご承知のとおり、新型コロナウイルスの感染が拡大しております。会員各社におかれましても、各拠点等にてマスク着用や部屋の換気を実施していらっしゃるかと思います。熱中症などの対策も例年以上に大変ではありますが、安全な作業を取り組むことが、地元地域への信頼へと繋がって参りますので、対策を宜しくお願い致します。

さて、東日本大震災から半年ほどで、10年が経とうとしております。今年3月には双葉町の避難指示一部解除やJR常磐線の全線運転再開もありました。

我々はこれからも1Fと2Fの廃炉における作業はもちろん、福島県全体の復興に更なる支援と取り組みを東京電力HDと企業協議会の皆様のご協力の下、努力して参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。



令和2年度 役員紹介

会長



(株)アトックス
福島復興支社
取締役支社長 **原 徹徳**

副会長



日立GEニュークリア・エナジー(株)
福島現地事業所
所長 **伊藤 正人**

専務理事



福島原子力企業協議会
専務理事 **坂本 秀樹**

理事



(株)IH I
いわき工事事務所
所長 **廣瀬 康雄**



(株)アトックス
福島復興支社
副支社長 **西垣 郁夫**



鹿島建設(株)
東電福島建築統括事務所
所長 **岡田 伸哉**



(株)関電工
福島本部 第一工事部
部長 **渡辺 喜則**



五洋建設(株)
東京土木支店 東電福島営業所
営業所長 **田中 正和**



(株)東京エネシス
原子力本部 福島総合支社
執行役員支社長 **寺岡 進**



東京パワーテクノロジー(株)
原子力事業本部 福島原子力事業所
事業所長 **小暮 俊**



東芝エネルギーシステムズ(株)
福島第一原子力作業所
地区所長 **青木 和夫**



東芝プラントシステム(株)
福島第一安定化作業所
所長 **望月 広次**



日立GEニュークリア・エナジー(株)
福島現地事務所
宮島 康高



(株)日立プラントコンストラクション
福島原子力復興工事業所
工事長 **藤川 諭**

監事



(株)宇徳
福島事業所
地域担当所長 **吉田 一弘**



(株)東京エネシス
原子力本部 福島総合支社
支社長代理 **渡辺 勇治**

顧問



東京電力ホールディングス(株)
福島第一原子力発電所
執行役員所長 **磯貝 智彦**



東京電力ホールディングス(株)
福島第二原子力発電所
所長 **三嶋 隆樹**

(敬称略)

令和2年度 パークゴルフ



今年度のパークゴルフは、新型コロナウイルスの影響を回避するため開会式を行わないなど、例年のない形で実施させて頂きました。

写真撮影のためにプレー中にお邪魔しました。この日は心地よい秋晴れで、協議会以外にも多くの方がプレーされていました。

今回は参加された企業さんは多くありませんでしたが、新型コロナウイルスの影響で外出がままならなかった一時期を考えると、心地よい秋晴れの中でのプレーは気持ちよさげで、一時の開放感を満喫されていたように思います。

今回参加して頂いた企業さんはありがとうございました！

次回は多くの企業さんに参加頂いて盛大に開催できることを願っています。



東日本大震災・ 原子力災害 伝承館

【お問合せ先】

公益財団法人
福島イノベーション・コースト
構想推進機構

東日本大震災・原子力災害伝承館
福島県双葉郡双葉町大字中野字高田39
電話 0240-23-4402
FAX 0240-23-4403
電子メール archive@fipo.or.jp
HP <https://www.fipo.or.jp/>

今回は、2020年9月20日にオープンした双葉町の伝承館を訪れました。当日は、企画事業部企画広報課担当の渡邊薫さんに、オープンに至るまでのお話等を伺うことが出来ました。

伝承館をオープンするにあたっては、出来るだけ多くの方に来館してほしいという思いから、全国各地（北は北海道、南は関西）を宣伝のために行脚されたそうです。

現状、伝承館の職員の方は20名ほどで、3分の1が福島県の職員の方で、残りの3分の2が公募社員（プロパー）の方ということでした。

当日は、一般の方々に加えて、福島県内の高校生がバスで来館していて、大変にぎわっていました。

私も伝承館を内覧しましたが、発災当時の貴重な資料が数多く展示されていました。是非、多くの方に足を運んでいただきたいと思います。

未曾有の複合災害の経験や教訓、復興のあゆみを残し、伝え、つないでゆく。
原子力災害を中心とした資料を収集・保存し、展示・プレゼンテーション、研究及び研修に活用することにより、震災の記憶の風化防止のための情報発信を行うとともに、防災・減災に役立ちます。

① 伝承の思い
平穏な故郷の日常が事故をきっかけにどのように変化したのか、経緯や思い出の足跡などの展示を通して国民の思いを伝えます。

② 伝承する原子力災害の創傷
原子力災害が長期化する中で発生した影響にどのように対応してきたのかを解説や資料を通して学びます。

③ 伝承への思い
避難や避難を乗り越え、復興に挑戦する福島県民の歩み、被災や行政が新しいまちづくりに挑戦する情報を発信し、皆で未来について考えます。

④ 原子力発電所事故直後の対応
原子力発電所事故直後に編み出す情報。電線する避難生活など、初見対応の記録と記憶を後世に教訓として伝えます。

⑤ プロローフ
震災の導入として、震災前の地域生活から、地震・津波・原子力発電所事故の発生、住居避難を経て、復興に向かう歩みを7箇巨大スクリーンで表現します。

⑥ 災害の始まり
震災前の地域の平穏な日常が、地震・津波災害と原子力発電所事故により大きく変化した状況を時系列でたどります。

⑦ 全館展示室

複合災害を知る、学ぶ (展示コーナー)



震災前から震災当時、現在を通じて、大規模災害の恐ろしさと、その後の復興の過程を学ぶことができます。

複合災害の話を聞く、 共感する (語り部講話)



複合災害を経験した方々の生の声を聞き、当時の追体験ができます。

被災地へ行く、 体感する (フィールドワーク)



津波や原子力災害で被災した施設や復興の状況を見て、学ぶためのツアーを行います。(オプション)

複合災害を考える、 教訓を得る (研修プログラム)



来館団体のニーズを踏まえ、震災・防災に関係した様々な研修を提供します。(オプション)

利 用 案 内

- 開館時間：9:00～17:00 ●休館日：火曜日・年末年始(12/29～1/3)
- 入館料：大人600円 小中高300円 大人団体(20名以上)480円 小中高団体(20名以上)240円
- 研修室：8,300円～(最大120名収容) ※入館料は1名あたりの金額です。※教育活動での減免制度あり。

楡葉町の紹介

町のお土産・特産品 (道の駅で購入可)



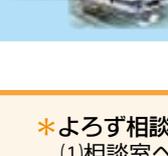
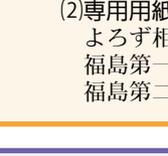
「ゆず香る文化の里づくり」を目指す楡葉町はゆず(柚)の町。ゆず塩ラーメン、柚酒(ゆず里愛)、ジェラートなど、ご堪能下さい。



町のブランド米「う米」。マスコットキャラクターのゆず太郎も可愛い。オリジナル日本酒「楡葉の風」もおススメ!



施設	内容
① Jヴィレッジ 	震災直後から廃炉作業・復興推進活動の拠点として使用されていたが、2018年7月に営業を一部再開、2019年に完全再開。天然芝・人工芝のピッチ、全天候型練習場、フィットネスジム、プールなど、設備も充実。ホテルも合宿タイプ、ビジネスシーンでの会議室・宿泊施設と多岐にわたり利用できる。
② 道の駅ならば 	定食、ラーメンなど豊富なメニューが楽しめるフードコート、大浴場やサウナを擁した温泉など、充実した施設。2020年6月には、物産館もリニューアルオープンし、お土産コーナーや、地元のとれたて新鮮野菜や加工品、県内の特産品なども販売しており、品ぞろえも多く賑わいを見せている。
③ 天神岬スポーツ公園 	広大な敷地に、アドベンチャー広場や公園があり、テニスやバーベキューなど一日中楽しめる。敷地内の「しおかぜ荘」では、食事や雄大な太平洋を眺めながら温泉が楽しめる、宿泊も可。
④ ここなら笑店街 	2018年6月にオープンした商業施設。スーパー、ホームセンター、飲食店など10店舗が入り、住民の生活を支えている。秘伝のタレで食べる豚丼の「豚壱」、ボリューム満点の定食やお酒も飲める「おらほや」など、ぜひお立ち寄り下さい。

施設	内容
⑤ 焼肉ならば亭 	2020年6月にオープンしたばかりの焼肉屋さん。綺麗な店内では、食欲をそそるお肉の香り一杯。大盛りホルモンにカルビ、タンなどガッツリ系の食事はもちろん、地元のお酒「楡葉の風」も堪能できる。
⑥ 海鮮料理よしだ 	竜田駅前にあり、地元で獲れた新鮮な魚介類を使った刺身定食、海鮮丼、天井など、リーズナブルな値段でたらふく食べられる。丼ぶりからはみ出るほどの具を是非ご堪能下さい。
⑦ 武ちゃん食堂 	震災後は、役場前の仮設店舗で営業していたが、2018年、竜田駅前にリニューアルオープン。各種定食、カレー、ラーメンの他、セットものなど種類も豊富で地元民に愛されるアットホームな食堂。
⑧ 木戸川渓谷 	渓谷には遊歩道が整備され、「雄滝・雌滝」や「じい杉・ばあ杉」など見どころが盛り沢山。新緑や紅葉など、四季折々の雄大な自然が満喫できる。
※さつまいも 	町の新たな特産品としてさつまいも栽培に力をいれている。当社も出資している福島しろはとファームは町内の栽培面積を2019年度約30haから2020年度約42haに拡大、秋には町の貯蔵施設も完成予定。

東京電力ホールディングス(株)より情報提供

よろず相談窓口

福島第一、福島第二原子力発電所での業務に関するものであれば何でも相談できます。一緒になって解決策を見出していきたいと考えております。ひとりだけで悩まず、気軽に相談に訪れていただきたいと思います。

*よろず相談窓口受付方法

- 相談室へ直接お越しいただく場合
福島第一 協力企業棟 2階 企業協議会事務室
平日10:00～12:00、13:00～16:00
- 専用紙によるよろず相談受付箱へ投稿する場合
よろず相談受付箱は下記の場所に設けてあります
福島第一 企業棟 1階南側エレベータ前
福島第二 企業センター厚生棟 1階玄関内

編集後記

福島原子力企業協議会(以下、協議会)の今年度(第39回)特別会員総会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため、メールによる書面審議で実施しました。

先行きが不透明で大変な不安を抱える中での幕開けとなりましたが、会員企業様のご理解とご協力により、新たな役員体制のもと今年度の活動を無事に開始することが出来ました。

新型コロナウイルスの影響により、今年度の協議会の事業活動は縮小の方向にあります。ただ、このような状況の中でも会員企業様が安定的に現場作業を継続できるように協議会として出来ることを爾々と実施して参りたいと思っています。

会報「浜街道」では、協議会の取り組みや、地域の情報など、皆様の活動の一助となる情報を提供して参りたいと考えています。

協議会活動について、会員企業様からのご意見等いただければ幸いです。

発行責任者：中島 純一

福島原子力企業協議会

〒979-1301

福島県双葉郡大熊町大字
夫沢字北原22番地

TEL : 0240-23-6940

FAX : 0240-23-6942